

2023年4月1日～2024年3月31日の間に 当科においてがんの治療を受けられた方及びご家族の方へ

「AYA世代患者サポートナース会による取り組みの現状と今後の課題」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学附属病院	12階西病棟	看護主任	森安 亜衣
研究分担者	川崎医科大学附属病院	10階西病棟	看護師	古谷 和美
	川崎医科大学附属病院	看護管理室	看護部長	平松 貴子
	川崎医科大学附属病院	看護管理室	看護副部長	寺本 里美

1. 研究の概要

AYA (adolescent and young adult 以下 AYA) 世代とは、15歳以上40歳未満の思春期から若年成人期にある人々を指します。2018年3月に策定された第三期がん対策推進基本法において AYA 世代のがん患者、家族に対する支援が注目されるようになりました。当院でも、AYA 世代に特徴的な課題に対しては組織横断的に支援する体制として2023年6月に AYA サポートナース会が構築されましたが、AYA 世代がん患者の支援を進めるにあたり、現状の把握ができていないと考えられました。

そこで、当院の AYA 世代がん患者の現状を把握し、今後の看護支援の課題を明らかにすることを目的としています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2023年4月1日～2024年3月31日の間に川崎医科大学附属病院科においてがんの治療を受けられた方 AYA 世代のがん患者を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2025年2月22日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院においてがんの治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに生活現状のデータを選び、現状の支援に関する分析を行い、今後の課題について報告する。

4) 使用する情報の種類

情報：病名、診療科、通院回数、性別、年齢、家族構成、職業、妊孕性、子どもへの告知の有無

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学附属病院、看護管理室のファイルサーバー内で保管させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保管し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保管します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2024年11月30日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<お問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 12階西病棟

氏名：森安 亜衣

電話：086-462-1111 内線 12140（平日：9時00分～17時00分）

E-mail：moriyasu-a@hp.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。